

自然体験活動上級指導者

NEALインストラクター養成事業 報告書

NEAL インストラクターとは？

自然体験活動プログラムの企画・実践者となるとともに、NEALリーダーの指導を担う指導者です。

【想定される主な役割】

- ①プログラムの企画・運営。
- ②プログラムの直接指導。
- ③プログラムの安全管理。
- ④リーダーに対する指導や指導方針の共通理解を図る。



青少年教育施設職員、野外活動施設、大学生法人ボランティア、民間団体等、計18名の方にご参加いただきました！！

日 程 | 令和2年2月17日(月)～2月19日(水) <2泊3日>

会 場 | 国立淡路青少年交流の家

講義「学校教育における体験活動」

講義「自然体験活動の特質」

講師：大本 晋也（国立淡路青少年交流の家 所長）

ワークショップを通して、現代の子どもたちの取り巻く課題や環境、体験活動の可能性や重要性を伝えました。

その後、施設で取り組んでいる事業を紹介し、自然体験活動の特質について説明しました。



講義・演習「対象者理解」

講師：榎本 英樹氏（NPO法人生涯学習サポート兵庫 遊びクリエイター）

遊びや経験談、ワークショップを通して、対象者への配慮や対応について学びました。後半は、身近な事例をもとに支援方法や支援グッズを考えました。



講義・実技「自然体験活動の安全管理」

講義・実技「自然体験活動の技術」

講師：三浦 正純氏（神戸市立自然の家 ゼネラルマネージャー）

安全管理の講義のあと、ダッチオープンを使用した炊さん活動しながら、自然体験活動の技術や安全管理を体験的に学びました。その後、活動時のリスクを洗い出し、一緒に活動するリーダーにインストラクターとして、どうリスクを伝えればよいかを考えました。



講義「自然体験活動の企画・運営」「自然体験活動の指導」

講師：西村 典芳氏（神戸山手大学 教授）

三浦 正純氏（神戸市立自然の家 ゼネラルマネージャー）

自然体験活動の企画の考え方について講義を受けたあと、1人1本の企画作りにチャレンジしました。作成した企画は、講師と面談し、フィードバックを受けました。なかなか考えが上手くまとまらず、苦労する参加者もいましたが、最後にはなんとか作り上げ、お互いに発表し合いました。



受講者の声

教えるがすべてではなく、ひとつずつ体験してみても考えを深めていくことが大切と感じた。(20代 女性)

先入観を持たず、ひとりひとりにしっかりと向き合うことが大切だと感じた。(20代 女性)



今までの企画の作り方を考える良い機会になりました。施設にある事業を見つめ直し、より良いプログラムを提供できるように頑張ります。(20代 男性)

頭を悩ませ、苦しむこともありましたが、形だけの研修ではなく、本当に身になる3日間でした。(30代 男性)

【お問い合わせ】
国立淡路青少年交流の家

TEL 0799-55-2696 FAX 0799-55-0463 E-mail awaji-senmon@niye.go.jp

【講習情報・自然体験活動指導者について】
全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

<https://neal.gr.jp/index.html>